

時鐘

明治39（1906）年の秋、金沢の表通りに群衆の聲が響いた。北國新聞社が主催した「自転車大競走」の選手に向けて人々が「万歳」と叫んだのであった。連載「北國新聞の130年」は、選手が黒山の人だかりをかきわけて尾山神社前を出発したとの記事を紹介している▼有名なツール・ド・フランスが初めて開かれたのは1903年であった。それから3年後に石川県で自転車競技が挙行されたのである。当時はまだ自転車が珍しいときで、人々が興奮したのも無理はない▼その流れをくむツール・ド・のと400が今日から始まる。自転車は進歩し、服装もカラフルになった。明治と趣は違つが、金沢港クルーズスターミナルを発着点にして能登を回るレースはますます壮観である▼ツール・ド・フランスを開いたのも新聞社であった。レースは人の心に火を付ける。戦いの模様を載せた新聞は注目されたという。石川の自転車大競走を売明に伝えた北國新聞の記事も読者を沸かせただろう▼明治のレースを源流とするツール・ド・のとは今回、どんなドラマを生むだろうか。わくわくする展開を期待したい。

2022.9.17